

小田原市景観評価員の実績

(任期：令和6年2月1日～令和8年1月31日)

年度	実施日	評価案件	評価員	主な意見
令和6年度	1月20日	「小田原城天守閣の眺望景観確保」に向けた取り組みに係る意見①	鈴木評価員	<div><div>・国道1号と国際通りが交差する場所という歴史的視点は重要だが、影響する沿道敷地が多く、恒久的に眺望景観を確保するためには、天守閣寄りに視点場を設定した方が良い。</div><div>・小田原城の眺望確保においては、天守閣の両側に天守閣と同幅程度の眺望を確保できると望ましい。</div></div>
	1月23日	「株式会社ミルボン社員寮」新築計画に係る意見	彦根委員	<div><div>・隣地の株式会社ミルボン研修センターの配置計画、植栽計画、および外壁素材の選択は、小田原駅東口ロータリー東南部裏側の殺風景な印象に潤いを与えることが期待できる。</div><div>・左官仕上げの壁材は土塗り壁を連想させる素材感で、歴史ある街並みに同化する適切な選択と思われ、現代的な建築施設でありながら街並みに馴染む効果を期待できる。</div></div>
		「小田原こどもの森公園わんぱくらんどエントランス広場の舗装」に係る意見		<div><div>・色味が若干、現状よりも鮮やかになる可能性はあるものの広場の用途からは、逆に良い効果をもたらすものと考えられる。</div></div>
令和7年度	5月15日	「小田原城天守閣の眺望景観確保」に向けた取り組みに係る意見②	鈴木評価員	<div><div>・様々な状況を勘案すると、中間点（菜の花前）に視点場を移すことが現実的である。</div><div>・視点場を移し、一部の地区のみの影響であっても、天守閣の眺望確保について、周辺街区の関係権利者に対してもインフォメーションをすることが重要である。</div></div>
	5月27日 6月17日	「小田原上府中公園園路舗装」に係る意見	吉田評価員	<div><div>・公園内の緑や花の色が目立つように舗装色は低彩度色の使用を基本とする。</div><div>・永く使っても退色が少ない色材とし、中明度以下の明るさの低彩度色を基本に選択する。</div><div>・単色で均質な色彩の舗装材は、自然に馴染みにくい。適度な色斑がある舗装材が落ち着いた空間をつくる。</div></div>
	8月27日	「景観計画重点区域における電柱広告」の色彩に係る意見	彦根評価員 吉田評価員	<div><div>・重点区域内では基本的に反転表示は行わず、企業のロゴタイプやピクトグラムをうまくデザインして視認性を高める工夫をしてほしい。</div><div>・緑系や赤系など対比が強い複数の色相が混在している広告面があるが、基本的に色数は少なめにして案内広告面の統一感をつくってほしい。</div></div>
	10月6日	「小田原久野共同住宅」新築計画に係る意見	鈴木評価員 彦根評価員 吉田評価員	<div><div>・北側住宅地に隣接した立体駐車場について、静音性などの面からは、囲いのあるものが望ましい。</div><div>・擁壁面と建物の足元部分だけでも緑化できれば多少印象を和らげることができる。</div><div>・現在3層の塗分け配色となっているが、建築物の外壁の塗分けは平面ではなく、基本的に建築物の形や外装材が変わるところで塗り分ける方法が好ましい。再度色彩の塗分け方を検討して、建築形態とうまく馴染む配色としてほしい。</div></div>
	10月24日	「間中病院」増改築計画に係る意見	鈴木評価員 彦根評価員 宮城評価員 吉田評価員	<div><div>・駐車場区画と歩道の間の植栽が最大でも50センチ程度にしかない樹種であるため、駐車場の車を視覚的に隠すような高さの樹種を検討すべきである。</div><div>・木とそっくりに見えるコンクリートに木の色を塗る、という点に違和感を覚えるので、コンクリートの質感はそのままにして色合わせをした方がよい。</div><div>・北棟の外装材はタイルが使われているので、この棟との一体感を創出するためにはなるべく近い質感の材料を使用することが好ましい。</div></div>
		「小田原城天守閣の眺望景観確保」に向けた取り組みに係る意見③		<div><div>・天守閣の眺望を確保するためには事前協議の仕組みを導入することが大事である。</div><div>・独立型の屋外広告物などをどのようにコントロールするか事前協議の仕組み作りが必要。</div><div>・具体的には視点場というある特定の一点を強調しすぎると、そのポイントと天守閣を結んだ線の上にあるものを排除するような考え方となり、その視点場に関係者を納得させるような意義が無ければならなくなる。</div><div>・現行の視点場から天守閣に向かって変わる連続性を楽しめるように、移動する空間全体を対象として考える方が良い。</div><div>・視点場というよりは、動画（連続性のもの）として捉えて、国道1号沿いだけで良いが、現状の軸線上で見える場所、見えない場所を細かく出していくのが良いと思う。</div><div>・眺望景観確保や高度地区など小田原市のこのような景観に関する取り組みは良いと思う。</div></div>